

プラチナ構想ネットワーク

第15回プラチナイブニングセミナー 開催のご案内

日 時 2019年4月26日(金) 16:00~18:30
場 所 三菱総合研究所4階会議室(東京都千代田区永田町2-10-3)

■プログラム (変更になる場合があります。)

- 16:00-16:05 【事務局連絡】
16:05-16:10 【主催者挨拶】プラチナ構想ネットワーク事務局長 平石 和昭
16:10-17:10 【講演】株式会社三井住友銀行 成長産業クラスター 業務開発グループ長
上遠野 宏 様
「ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)を活用した社会的課題解決
～糖尿病性腎症重症化予防事業に対する取組～」
17:10-17:30 【質疑応答】
17:30-18:30 【交流会】(予定)

参加費：会員 ならびに会員団体所属メンバー 無料、 非会員 1,000円(交流会参加費含む)
参加お申し込みはメールにて、①お名前(ふりがな) ②ご所属・役職 ③メールアドレス
④お電話番号を明記の上 seminar@platinum-network.jp 宛にお申し込みください。
〔締切 2019年4月24日(水)〕

■講師のご紹介

かとおの ひろし
上遠野 宏 様

株式会社三井住友銀行 成長産業クラスター 業務開発グループ長

第6回 プラチナ大賞
「パートナーシップ賞」
受賞取組み

【プロフィール】

早稲田大学理工学部卒。建設コンサルタント会社を経て1998年に株式会社さくら銀行(現株式会社三井住友銀行)に入行。リスク管理部署や不動産アセットマネジメント会社への出向を経て、2011年からは新規ビジネスの開発業務に従事。その間、介護施設を投資対象とした不動産投資信託の組成及び東証への上場をはじめ、他行には無い新規ビジネスの開発を実施。ソーシャル・インパクト・ボンドのような社会的課題解決に資する社会的インパクト投資についても積極的に取り組んでいる。



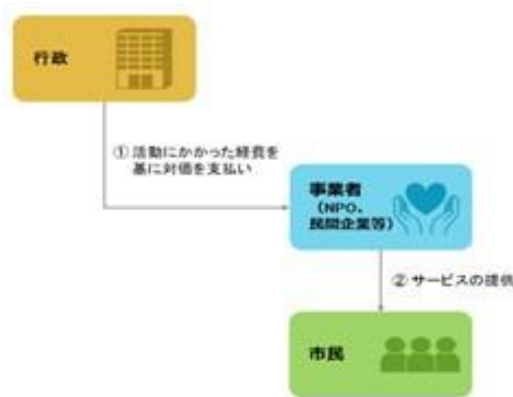
【講演概要】

2010年にイギリスで始まったソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)。社会的課題解決の有望な方策として我が国でも注目が集まっている。全国でも大小様々なSIBが広がりを見せているが、本講演では国内初の本格的なSIBである神戸市での事例に基づいて解説。そもそもSIBとはどのような仕組みなのか？何故、民間資金や民間事業者が必要なのか？どのような役割分担が最も効率的なのか？地方自治体はSIBをどのように捉えているのか？等、実体験も交えながらお伝えする。

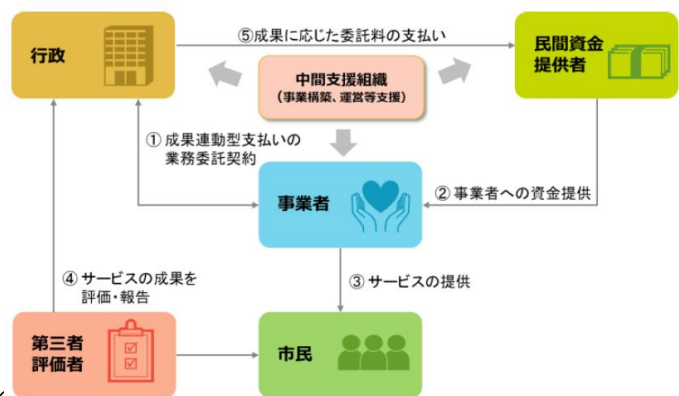
ソーシャル・インパクト・ボンド(SIB)について

- ★ ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）は、民間資金を活用した行政サービスにおける官民連携による社会的課題解決の仕組み。
- ★ 現状の行政サービスには、行政、事業者、市民の3者が介在し、行政が民間に業務委託を行い、事業者は活動にかかった経費を固定報酬で受け取ることが通例だが、SIB では3者に加え中間支援組織、民間資金提供者と第三者評価機関が介在し、行政は成果連動報酬で業務委託を行うことができる。
- ★ 事業者は民間資金の活用が可能となり、事業の持続的な成長が可能。

【現状の行政サービス】



【SIB を利用した行政サービス】



- ★ SIB の活用により、各関係者は以下のメリットを享受することが可能

行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の QOL の向上 ・行政コストの適正化 ・行政の財政的リスクを抑制しながら民間の新しい取組を活用
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・QOL の向上
事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・成果重視の質の高い柔軟なサービスの提供
資金提供者	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的課題解決に貢献 ・新たな資金運用機会

※ イブニングセミナーとは

当会が目指す「プラチナ社会」の実現に向け、日本社会や地域の諸課題の解決に取り組む先駆者を講師としてお招きし、その先進的な手法とプロセスを学び横展開につなげるとともに、会員及び非会員の新たな交流の場を創出し、当会のプラットフォーム機能を強化することを目的としています。

※お申込みに際して記載いただいた個人情報は、当セミナーの運営管理の目的に利用させていただきます。また、今後当会が主催するイベント等のご案内に活用させていただく場合がございます。なお、ご案内不要の場合はその旨お知らせ願います。